

美術科 第3学年 シラバス

学期	月	題材名	題材のねらいと学習の内容	時間	観点別学習状況の評価規準 ・主＝主体的に学ぶ態度 ・知＝知識・技能 ・思＝思考・判断・表現		評価方法				
							テスト	シート	作品	提出物	観察
1	4	オリエンテーション	一年の見通しをもつ。	9	主	心豊かに生きることと美術のかかわりについて関心をもつ。		○			○
		見方を変えて	身の回りを普段とは違う視点で見つめることで新たな美を発見する。		知	対象を深く見詰め、表現の主題を発想しよう。	○	○	○	○	
	5	躍動感を捉えて	いろいろな場面から美しいと感じる動きの瞬間に注目し、表現する。		思	主題や意図にあった技法を工夫して表現する。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い、お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。				○			○	
	7	☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い、お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。					○			○
2	9	自画像、 いまを生きる あなたへ	自分を見つめ、自分をよく知ることによって新しい自分と出会い、未来への道しるべとして表現する。	12	主	自画像として自分を表現することに意欲的に取り組む。		○			○
			知		自分自身と向き合うことから発想し、表現の構想を考える。	○	○	○	○		
	10	部分と全体の関係に注意して、自分の顔の特徴をとらえて描く。	思	意図をよりよく表現できる技法を工夫する。	○	○	○	○			
	11	☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い、お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。				○			○	
2	11	★メッセージを 伝えるポスター	文字では伝わりにくいことを絵や図などを使って表現できることを理解する。	5	主	イラストレーションの表現に関心を持つ。		○			○
			知		ユーモアや内容の伝わりやすさを考えて発想する。	○	○	○	○		
	12	ユーモアの感覚や見る人を楽しませる気持ちを大切にデザインする。	思		伝わりやすい形や色を工夫し、表現に適した表現を工夫する。	○	○	○	○		
12	☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い、お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。				○			○		
3	1	絵や立体が動き出す	アニメーションの原理を理解し制作する。	9	主	アニメーションに興味を持つ。		○			○
			知		仕組みを理解し発想する。	○	○	○	○		
	2	作品の面白さや良さを味わう。	思	効果的な表現方法で創意工夫する。	○	○	○	○			
3	☆ 言語活動	作品のよさや工夫を発表し交流する。作品の見方や感じ方を広くもち、お互いの表現を深く読み取り、鑑賞する。				○			○		
総時数				35							